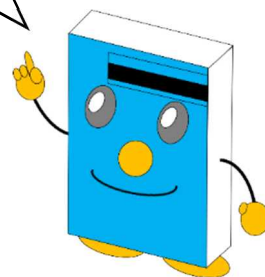


第3章

活用例編

第3章では、特別支援学校中学部と高等学園におけるツールの活用例を掲載しています。

ツールを活用したことで、学習活動にどのような変化(変容)が見られるのかご覧ください。



活用例①

第2章で紹介した事例を一つにまとめました

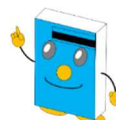
～各教科等を合わせた指導(生活単元学習) ある特別支援学校中学部の例～

ある特別支援学校中学部では、このような年間指導計画が作成されていました。
生徒の実態に合わせてStepに沿って調整・見直しをして、学習活動を設定していきましょう。

調整・見直し前の年間指導計画

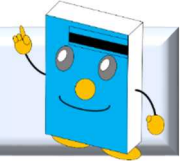
Step 1

年間指導計画等で必要事項を確認しましたか？



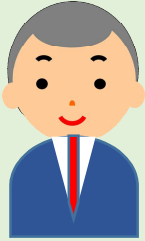
【指導の形態】 各教科等を合わせた指導 生活単元学習	【単元(題材)名】 買物に行こう	【時数】 7時間	
【指導の期間】 5月～6月	【学部・学年】 中学部2学年		
【単元(題材)の目標】			
<ul style="list-style-type: none"> ・買物学習を通して、商品の買い方や選び方等を理解して買物ができる。[知識及び技能] ・買物に関わる人に伝わるように表現を工夫することができる。[思考力, 判断力, 表現力等] ・買物学習に見通しを持って取組み, 学習に活用しようとする。「学びに向かう力, 人間性等」 			
【単元(題材)の計画】			
【時数】	【主な学習活動】(指導内容・方法)	【指導体制】	【各教科の目標及び内容】
1時間	1. オリエンテーション ・学習の目的及び内容について知る。	一斉指導	
2時間	2. 買物の準備 ・生活に必要な物の選び方, 買物の仕方について ・店員さんとのやり取りについて	一斉指導	職業・家庭(家庭分野) C消費生活・環境ア(ア) (中学部1段階)
3時間	3. 買物(当日)	一斉指導	国語A聞くこと・話すこと エ(中学部2段階)
1時間	4. 振り返り	一斉指導	
	<div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>Step 2・4 「学んだことを生かしている姿」につながる学習活動となっていますか？</p> </div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>Step 5 全員が十分に学べる集団の学習活動になっていますか？</p> </div>		
			<div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>Step 3 各教科の目標及び内容(育成を目指す資質・能力)は生徒の実態に合っていますか？</p> </div>

中学部2年1組の3人が買物(消費生活)の学習を行います。
それぞれこのような実態の生徒たちです。



生徒の実態

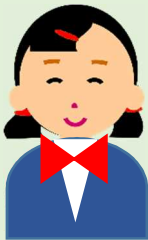
Aさん



(知的障害 ASD)

- ・ 学習場面において、教師と一緒に行動する必要がある。
- ・ 集団で行動することができるが、気持ちが落ち着かないことがある。
- ・ タブレット端末で動画を観ることが好き。
- ・ 商業施設等で買物をする経験が少ない。
- ・ 家族や身近な人には挨拶ができる。

Bさん



(知的障害 ASD)

- ・ 自立心は旺盛で、物事に意欲的に取り組める。
- ・ 絵を描いたり、音楽を聴いたりすることが好き。
- ・ 一人で家の近所にある自動販売機で好きな飲み物を購入することができる。
- ・ 家族と買物に行くことはあるが、一人で買物をした経験はない。
- ・ 日常会話はできるが、困った時に周囲に助けを求めることは難しい。

Cさん



(知的障害)

- ・ 身辺自立ができており、日常会話や簡単な読み書き計算ができる。
- ・ ゲームをすることが好き。
- ・ 一人で商業施設へ行き、買物することができる。
- ・ 家庭ではごみ捨て等、家族の手伝いをしている。
- ・ 他者と関わる際の適切な距離の取り方や表現力を身に付ける必要がある。

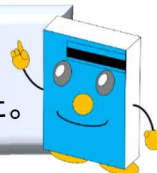
学習活動(指導内容・方法)設定シート

生徒たちの実態を踏まえ、学習活動(指導内容・方法)設定シートに記入してみました。



【指導の形態】 各教科等を合わせた指導 生活単元学習		【単元(題材)名】 買物に行こう	【時数】 7時間				
【指導の期間】 5月～6月		【学部・学年・学級】 中学部2年1組	Step 1				
個別に設定	氏名	【各教科の目標及び内容】 (育成を目指す資質・能力)	【学んだことを生かしている姿】	【場・人・もの】	【学習活動】 (指導内容・方法)		
	グループでも可	Step 3	Step 2	Step 4			
	A	・職業・家庭(家庭分野)C消費生活・環境ア(ア) (中学部1段階) ・国語A聞くこと・話すことエ (小学部2段階)	・目的に応じた店で、家族(支援者)と買物する。 ・商品やお釣の受け渡しができる。 ・店員と簡単なやり取りをする。 ・エコバックを持参して買物に行く。	場:目的に応じた店 人:店員,家族,支援者,友達 もの:紙幣・硬貨,財布,かご,レシート,エコバック	・教師と一緒に買物の一連の流れを、別教室に設置した仮想店舗でシミュレーションする。 ・本物の紙幣や硬貨の受け渡しをする。 ・「これください」「お願いします」「ありがとうございます」等、店員との簡単な受け答えの練習をする。 ・購入した商品をエコバックに入れる。		
	B	・職業・家庭(家庭分野)C消費生活・環境ア(ア) (中学部1段階) ・国語A聞くこと・話すことエ (中学部2段階)	・目的に応じた店で、自分で必要な商品を選び、買物する。 ・困ったことや質問があったときに、店員と適切にやり取りする。	場:目的に応じた店 人:店員,家族,支援者,友達 もの:紙幣・硬貨,財布,かご,店内表示,レシート	・必要な商品を選び、自分で購入する。 ・買物に必要な物を自分で準備する。 ・店員に伝わりやすいように、視線や適切な声の大きさ、速さで話す練習をする。		
C	・職業・家庭(家庭分野)C消費生活・環境ア(ア)イ(ア) (中学部2段階) ・国語A聞くこと・話すことエ (中学部2段階) ・数学A数と計算イ(ア)㊦ (中学部2段階)	・目的に応じた店で、自分一人で、必要な商品を選び、予算を考えて買物をする。 ・困ったことや質問があったときに、店員と適切にやり取りする。 ・資源回収やエコバックの使用など、環境について知る。	場:目的に応じた店 人:店員,家族,友達 もの:電卓,エコバック,メモ帳,プリペイドカード,レシート	・商品の選択や扱い方について知る。 ・店員に伝わりやすいように、表現を工夫する練習をする。 ・タブレット端末の電卓機能を使い、予算内で買物ができる学習をする。(プリペイドカードを知る) ・袋の有料化に伴うエコバック等について学習する。			
集団で設定	【主な学習活動】(指導内容・方法)				Step 5	【指導体制】	【時数】
	1. オリエンテーション	・学習の目的及び内容について知る。 ・袋の有料化に伴うエコバックの活用等について学習する。				一斉指導	1
	2. 買物練習①	・別教室に設置した仮想店舗で買物の流れを確認する。 ・個別の目標に応じた買物の仕方を確認、練習する。				一斉指導 個別指導	1
	買物練習②	・個別の課題に応じた学習活動を行う。 ・それぞれの練習成果を発表する。				一斉指導 個別指導	1
	3. 買物(当日)	・学校の近隣の商業施設へ行き、買物をする。				一斉指導	3
4. 振り返り	・授業を振り返り、学習の成果を発表する。				一斉指導	1	

年間指導計画等を生徒の実態に応じて見直した結果、次のような授業となりました。
「育成を目指す資質・能力」を見守る生活に結び付ける学習活動が設定されました。



調整・見直し後の指導計画

【指導の形態】 各教科等合わせた指導 生活単元学習		【単元(題材)名】 買物に行こう	【時数】 7時間
【指導の期間】 5月～6月		【学部・学年・学級】 中学部2年1組	
【単元(題材)の目標】			
<ul style="list-style-type: none"> ・買物学習を通して、買物の一連の流れや商品の選び方等を理解して買物ができる。[知識及び技能] ・買物に関わる人に伝わるように表現を工夫することができる。[思考力、判断力、表現力等] ・買物学習に見通しを持って取り組み、学んだことを学習や買物当日に活用しようとする。「学びに向かう力、人間性等」 			
【単元(題材)の計画】			
【時数】	【主な学習活動】(指導内容・方法)	【指導体制】	【各教科の目標及び内容】
1時間	1. オリエンテーション ・学習の目的及び内容について知る。 ・何を購入するか確認する。 ・袋の有料化に伴うエコバック等について学習する。	一斉指導	指導体制の調整・見直しがされています。 Step 5
2時間	2. 買物練習① ・別教室に設置した仮想店舗で買物の流れを全体で確認する。 ・個別の目標に応じた買物の仕方を確認、練習する。 買物練習② ・個別の課題に応じた学習活動を行う。 ・それぞれの練習成果を発表する。	一斉指導 個別指導 個別指導 一斉指導	職業・家庭(家庭分野) C消費生活・環境 ア(ア)(中学部1段階) (中学部2段階) イ(ア)(中学部2段階) 国語 A聞くこと・話すこと エ(小学部2段階) (中学部2段階) 数学 A数と計算 イ(ア)㊦ (中学部2段階)
3時間	3. 買物(当日) ・学校の近隣の商業施設へ行き、買物する。	一斉指導	
1時間	4. 振り返り ・授業を振り返り、学習の成果を発表する。	一斉指導	取り扱う各教科や段階の調整・見直しがされています。 Step 3
【単元(題材)の評価規準】			
<ul style="list-style-type: none"> ・買物学習を通して、買物の一連の流れや商品の選び方等を理解して買物している。(知識・技能) ・買物に関わる人に伝わるように表現を工夫している。(思考・判断・表現) ・買物学習に見通しを持って取り組み、学んだことを学習や買物当日に活用しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) 			

活用例②

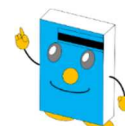
～教科別の指導(数学) ある高等学園の例～

ある高等学園では、このような年間指導計画が作成されていました。
生徒の実態に合わせてStepに沿って調整・見直しをして、学習活動を設定していきましょう。

調整・見直し前の年間指導計画

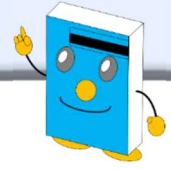
Step 1

年間指導計画等で必要事項を確認しましたか？



【指導の形態】 教科別の指導 数学	【単元(題材)名】 グラフを読み取ろう	【時数】 4時間	
【指導の期間】 5月～6月	【学部・学年】 高等学園3学年		
【単元(題材)の目標】			
<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表すことができる。[知識及び技能] ・データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取ることができる。[思考力、判断力、表現力等] ・データの活用において、見通しを持ちながらデータを収集、グラフの選択をしようとする。「学びに向かう力、人間性等」 			
【単元(題材)の計画】			
【時数】	【主な学習活動】(指導内容・方法)	【指導体制】	各教科の目標及び内容
1時間	1. オリエンテーション ・学習の目的及び内容について知る。	一斉指導	数学 Dデータの活用 高等部1段階 Step 3 各教科の目標及び内容(育成を目指す資質・能力)の段階は生徒の実態に合っていますか？
1時間	2. 様々なグラフについて知る。 ・簡単な表 ・棒グラフ ・折れ線グラフ ・円グラフ ・帯グラフ	一斉指導	
2時間	3. それぞれのグラフを読み取る。	一斉指導	
Step 2・4 「学んだことを生かしている姿」につながる学習活動となっていますか？			
Step 5 全員が十分に学べる集団の学習活動になっていますか？			

高等学園3年5組の6人が数学のデータの活用の学習を行います。
生徒の実態を基に、習熟度別にグループを編成しました。



生徒の実態

Iグループ



(知的障害 ASD)

- ・ タブレット端末や天気に興味がある。
- ・ 資料の数値を表で表したり読み取ったりすることができる。



(知的障害 ASD)

- ・ 情報誌やテレビなどに興味がある。
- ・ 資料の数値を表で表したり読み取ったりすることができる。

IIグループ



(知的障害)

- ・ 専門教科の家政が得意で、意欲的に取り組んでいる。
- ・ 棒グラフや折れ線グラフを表したり読み取ったりすることができる。



(知的障害)

- ・ 専門教科の農業が好きで、意欲的に取り組んでいる。
- ・ 棒グラフや折れ線グラフを表したり読み取ったりすることができる。

IIIグループ



(知的障害 ASD)

- ・ 自分の考えや気持ちを適切に話すことを自立活動の目標にしている。
- ・ グラフを表したり数値を読み取ったりすることができる。

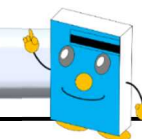


(知的障害)

- ・ 穏やかな性格で、周りに気配りをしながら多くの友人と適切に関わることができる。
- ・ グラフを表したり数値を読み取ったりすることができる。

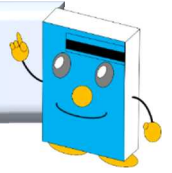
学習活動(指導内容・方法)設定シート

生徒たちの実態を踏まえ、学習活動(指導内容・方法)設定シートに記入してみました。



【指導の形態】		教科別の指導 数学		【単元(題材)名】	データを活用しよう	【時数】	4時間	
【指導の期間】		5月～6月		【学部・学年・学級】	高等学園3年5組	Step 1		
個別に設定	氏名	【各教科の目標及び内容】 (育成を目指す資質・能力)	【学んだことを生かしている姿】	【場・人・もの】		【学習活動】 (指導内容・方法)		
	グループでも可	Step 3	Step 2	Step 4				
	I グループ	・数学D データの活用 ア (中学部2段階)	・情報誌やテレビ等から情報を得る際に折れ線グラフを正しく読む。 ・インターネットで天候を調べ、適切な服装や持ち物を判断する。	場: 学校, 自宅 もの: 情報誌, テレビ, 折れ線グラフ, スマートフォン		・ペアで気温の変化をインターネットで調べた気温の変化を折れ線グラフで表し, 最大値と最小値を示し, 季節に応じた服装や持ち物を考察する。		
	II グループ	・数学D データの活用 ア (高等部1段階)	・販売会等における製品の中で売上げの高いものを把握し, 次の販売会の企画に生かす。	場: 販売会, 学園祭 人: 客 もの: 製品		・ペアで販売会での製品の売上げを棒グラフや円グラフで表し, 売上げの傾向を考察する。		
III グループ	・数学D データの活用 ア (高等部2段階)	・職場の資料や情報誌等の様々なグラフから情報を得ることができる。 ・友人と教え合ったり, 調べたりしながらスマートフォンを使うことができる。	場: 職場, 自宅 人: 友人 もの: スマートフォン, グラフ		・ペアでアンケートを作成し, 睡眠時間やスマートフォンを使用する時間を度数分布表で作成する。平均値, 最頻値, 中央値を求め, 目的に応じてどの代表値を用いるかを話し合い, 判断する。			
集団で設定	【主な学習活動】(指導内容・方法)					【指導体制】	【時数】	
	1. オリエンテーション					Step 5	一斉指導	1
	2. 各グループのテーマに沿って方法を話し合い, データを収集する。 Iグループ: 月ごとの気温 IIグループ: 製品の売れ筋 IIIグループ: 学園の生徒の平均睡眠時間, スマートフォンの利用時間						グループ指導	1
	3. 各自のタブレット端末でグラフの作成を行う。 Iグループ: 折れ線グラフを作成し, 最大値, 最小値を求める IIグループ: 棒グラフ, 円グラフを作成し, 平均値を求める IIIグループ: 度数分布表を作成し, 平均値, 最頻値, 中央値を求める					グループ指導	1	
	4. データを考察し, 校内に掲示したり, 配布したりする。					一斉指導	1	
5. 振り返り								

年間指導計画等を生徒の実態に応じて見直した結果、次のような授業となりました。
「育成を目指す資質・能力」を児童生徒の生活に結び付ける学習活動が設定されました。



調整・見直し後の指導計画

【指導の形態】 教科別の指導 数学	【単元(題材)名】 データを活用しよう	【時数】 4時間	
【指導の期間】 5月～6月	【学部・学年・学級】 高等学園3年5組		
【単元(題材)の目標】			
<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係を割合で捉え、グラフで表すことができる。[知識及び技能] ・データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取ることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] ・データの活用において、友達と協力して見通しを持ちながらデータを収集, データを考察しようとする。 「学びに向かう力, 人間性等」 			
【単元(題材)の計画】			
【時数】	【主な学習活動】(指導内容・方法)	【指導体制】	【各教科の目標及び内容】
1時間	1. オリエンテーション ※「With タブレ」を使用してグラフの作成方法を知る。	一斉指導	指導体制の調整・見直しがされています。 Step 5
1時間	2. グループのテーマに沿って方法を決め、データを収集する。 Iグループ: 月ごとの気温 IIグループ: 製品の売れ筋 IIIグループ: 学年の生徒の平均睡眠時間 スマートフォンの利用時間	グループ指導	Iグループ 数学 データの活用D (中学部 2段階)
1時間	3. 各自タブレット端末を使用して、グラフの作成を行う。 Iグループ: 折れ線グラフを作成し、最大値, 最小値を用いて 天候に適した服装や持ち物を考察する IIグループ: 棒グラフ, 円グラフを作成し, 売上げを考察する IIIグループ: 度数分布表を作成し, テーマに適した代表値を 判断し, 考察する	グループ指導	IIグループ 数学 データの活用D (高等部 1段階)
1時間	4. プリントして, 校内に掲示したり, 配布したりする。 5. 授業を振り返る。		IIIグループ 数学 データの活用D (高等部 2段階)
	生徒の実態に応じて, 全員が十分に学べる 学習活動に調整・見直しがされています。 Step 2・4・5		段階の調整・見直しが されています。 Step 3
【単元(題材)の評価規準】			
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに合わせてデータを収集し, グラフで表すことができている。(知識・技能) ・テーマに合わせて, 問題を解決するために適切なグラフを選択してグラフを表すことができている。(思考・判断・表現) ・データの活用において, 友達と協力して見通しを持ちながらデータを収集, グラフを考察し, 問題を解決しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) 			

※「With タブレ」宮城県総合教育センター 令和4年度専門研究 教育の情報化グループ 研究成果物